

能登野菜「中島菜」が「いしかわGAP団体認証」第1号を 取得！

中能登農林総合事務所

能登野菜の一つであり、古くから地元の人に親しまれている「中島菜」は、その希少性や機能性成分が注目され、ラーメンチェーン店等県内の業者を中心に加工・業務用需要が拡大しています。一方で、加工業者からは安心・安全な農産物を求める声も高まっています。そこで、JA能登わかばでは、実需者ニーズに対応した「中島菜」の生産を推進するため、GAP団体認証の取得を目指しました。

JAが主体となり、中島菜生産者から有志を募り、賛同する4戸で「JA能登わかば中島菜GAP推進協議会」を立ち上げました。

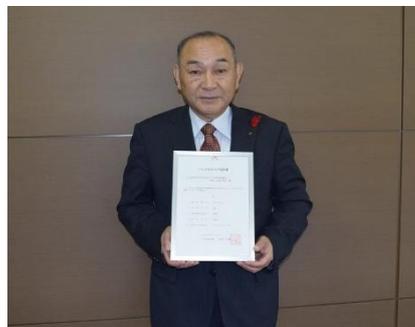
当事務所は、協議会事務局であるJAに対しては、管理マニュアルの作成を支援し、生産者に対しては、自己点検チェックシートによる適正な点検が行われるよう指導・アドバイスを行い、平成30年11月5日に「いしかわGAP団体認証」を取得しました。

GAP認証を取得した生産者からは、「日頃から心掛けていることを実際に点検シートを使ってチェックすることで、細かい部分まで再確認でき、新たな課題を見つけ出すことができた」という声が聞かれるなど、取得の効果が現れています。

今後は、先進的にGAP認証取得に向けて取り組んだ4戸をモデル農家と位置付け、他の部会員へも波及させていきたいと考えています。



取得に向けて研修会を実施



いしかわGAP認証書を受け取る
JA能登わかば坂井組合長

問い合わせ：農業振興部（0767-52-5522）